

平成22年度一般会計予算総額

70億4,840万円

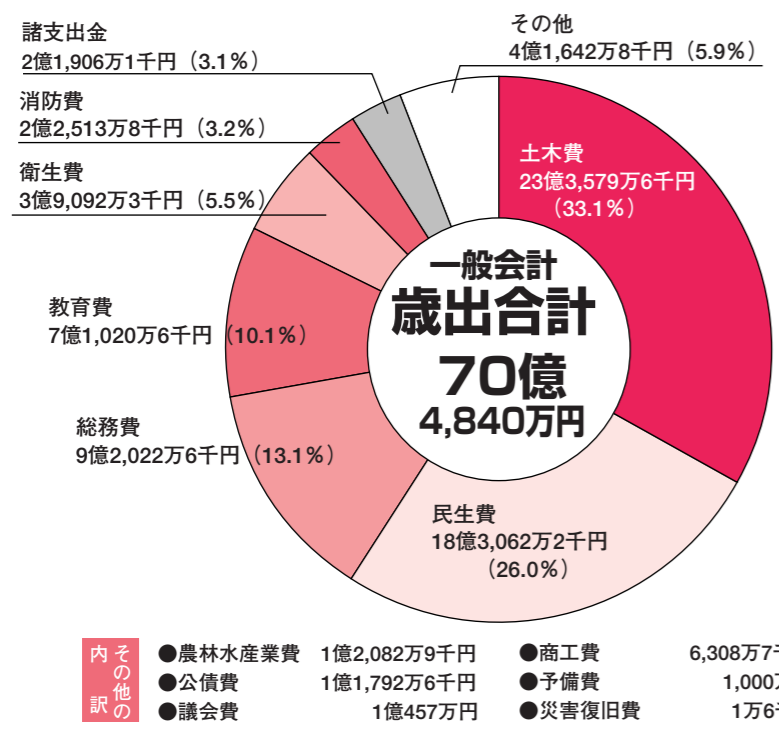
町の平成22年度予算が3月議会で可決されました。一般会計、特別会計、企業会計を合わせた歳出予算総額は107億3,980万4千円となり、前年度と比較すると7億9,513万6千円、率にして8・0%の増となりました(表1)。予算額比較は、前年度骨格予算との比較です。

【表1】 (単位：千円・%)

区分	予算額		比較	増減率
	22年度	21年度		
一般会計	7,048,400	6,280,700	767,700	12.2
国民健康保険会計	1,343,540	1,264,110	79,430	6.3
事業勘定	1,186,420	1,141,110	45,310	4.0
診療勘定	157,120	123,000	34,120	27.7
老人保健会計	1,390	3,220	△1,830	△56.8
介護保険会計	678,110	627,860	50,250	8.0
後期高齢会計	104,720	98,270	6,450	6.6
公共下水道会計	1,135,580	1,226,400	△90,820	△7.4
水道事業会計	428,064	444,108	△16,044	△3.6
水道事業費用	317,073	368,876	△51,803	△14.0
資本的支出	110,991	75,232	35,759	47.5
歳出合計	10,739,804	9,944,668	795,136	8.0

歳出 富洲原駅地区整備工事等に伴い、土木費が歳出全体の33・1%

歳出予算で構成比が一番高いのは、土木費で33・1%となっており、次いで民生費、総務費、教育費、衛生費の順となっています。前年度と比較すると、土木費は34・7%増の23億3,579万6千円、民生費は39・9%増の18億3,062万2千円、総務費は1・8%増の9億2,022万6千円、教育費は37・6%減の7億1,020万6千円、衛生費は5・4%増の3億9,092万3千円となりました。それでは、主な項目ごとに予算の使い道を紹介いたします。



歳入 町税は歳入全体で60・9%

一般会計の予算額は70億4,840万円で、前年度比12・2%の増となりました。歳入予算の構成比は、町税が60・9%と一番高く、次いで繰入金、国庫支出金、財産収入、県支出金の順となっています。その中で、町税は4・0%減の42億9,474万8千円、繰入金は158・0%増の13億6,073万7千円、国庫支出金は19・0%増の3億5,811万8千円になるなど歳入全体では、7億6,770万円の増収となりました。



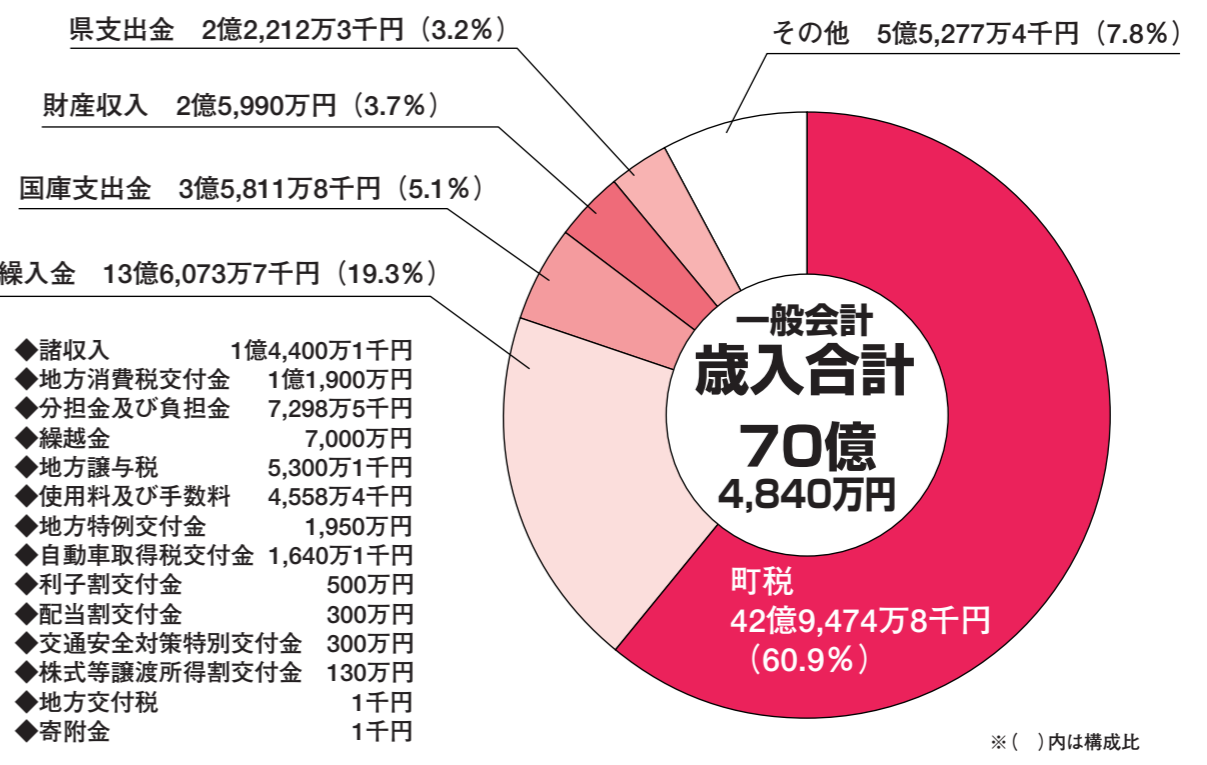
土木費

主に道路や水路の整備を行い、みなさんの利便性を向上させるための予算です。今年度は、富洲原駅地区整備事業として駅前広場及び周辺道路等の整備工事を実施します。また、町道の整備等を行うとともに、雨水による浸水への対策として朝明ポンプ場の維持管理等を実施します。

民生費

主に社会福祉、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉などに関する予算です。今年度は、主な事業として南部児童館の建設工事を実施します。また、児童館運営事業、子ども医療費助成(就学前から中学生まで(中学生は入院のみ))等、子育て支援対策事業の充実を図ります。

障害者福祉事業として、自立支援法に基づく障害者自立支援介護、障害者自立支援訓練等の各事業を推進します。また、前年度に引続き、障害者及び保護



総務費

主に全般的な管理事務や町の共通経費などに関する予算です。今年度は、主な事業として川越町の未来像及びそれを達成するための基本的施策を示す第6次川越町総合計画策定事業を実施します。また、前年度に引続き、各地区の公共的要望に対応した環境整備事業、住民票等各種窓口発行業務の簡素化のための自動交付機設置事業、CATVによる行政情報番組等の情報化施策を実施します。

教育費

主に幼稚園や小中学校、社会教育などに関する予算です。今年度は、主な事業として北小中学校と中学校のプール改修工事を実施します。また、前年度に引続き、地域特別支援教育の充実や読書活動推進のため幼小・中へ司書の配置を行う学校図書管理事業、児童防犯対策として小学校児童の登下校時の巡回及び校内パトロールを行うスクールサポートボランティア事業を実施します。社会教育においては、あいあいホールにてクラシックやポップス、大衆芸能など自主公演事業を開催し豊かな文化づくりを推進します。



※()内は構成比